

関節リウマチ 03b 対象疾患: 関節リウマチ

【5003b】インフリキシマブ

【投与スケジュール】

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W	4W	5W	6W	7W
インフリキシマブ	インフリキシマブBS	IFX	3~10 Mg/kg※	↓		↓				↓以後、8週毎 ※4週まで短縮 することあり

(用量・用法)※関節リウマチの場合

通常、体重1kg当たり3mgを1回の投与量とし点滴静注する。初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間の間隔で投与を行う。なお、6週の投与以後、効果不十分又は効果が減弱した場合には、投与量の増量や投与間隔の短縮が可能である。これらの投与量の増量や投与間隔の短縮は段階的に行う。1回の体重1kg当たりの投与量の上限は、8週間の間隔であれば10mg、投与間隔を短縮した場合であれば6mgとする。また、最短の投与間隔は4週間とする。また、初回、2週、6週投与までは10mg/kg等への増量投与は行わないこと

【注射薬投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
①	生理食塩液 100mL	1本	ルート確保用
②	インフリキシマブBS	3~10mg/kg	3時間
	生理食塩液 250mL	1本	
③	生理食塩液 50mL	1本	5分(ルートリンス)

※レジメン設定上の用量は1000mg/body(10mg/kgを100kgで使用した場合を仮定)、Intervalは2週で設定

<インフリキシマブBS>
インラインフィルター(1.2ミクロン以下)を使用すること

組織傷害性	インフリキシマブBS: データなし (先発品レミケードも明確な基準はなし。メーカー回答では非炎症性)
-------	---

【注意事項】

(インフリキシマブBS)

メトトレキサート製剤(リウマトレックス®など)による治療に併用して用いること。

他の注射剤、輸液等と混合しないこと(ブドウ糖注射液等の汎用される注射液でも配合変化が確認されているため)溶解後3時間以内に投与開始をすること

原則、2時間以上をかけて緩徐に点滴静注すること。※レジメンセット上は、整形外科担当医師との申し合わせにより「3時間」の投与時間コメントで作成

なお、6週の投与以後、それまでの投与でinfusion reactionが認められなければ、点滴速度を上げて点滴時間を短縮することができる。ただし、平均点滴速度は1時間当たり5mg/kgを投与する速度を超えないこと(臨床試験において投与経験がない)。

また、点滴時間を短縮した際にinfusion reactionが認められた場合には、次回以降の投与では、点滴時間を短縮せずに投与すること

投与間隔	通常用量	増量上限
短縮無し(8週以上)	3mg/kg	10 mg/kg
短縮あり(最短4週まで)	3mg/kg	6mg/kg